

令和4年度

印西市民アカデミーだより

第18号

講座18：市民活動について学ぶ②

1月27日(金)、日本中が記録的な寒気に覆われている中、久しぶりに中央公民館での座学です。今回の講座は、8月5日の講座「市民活動について学ぶ①」の続編です。印西市市民活動支援センター所長の北村氏、コーディネーターの宮本氏を講師に招いて、印西市の市民活動について講義していただきました。

令和5年1月時点で同センターに登録されている市民活動団体(地域社会の様々な課題に対して、主体的に関わり、自分達のまちを良くしたいという市民の想いをもって、それぞれの形で活動を展開していく団体)は、200団体を超えており、この6年間で2倍強に増えているそうです。これは、印西市には、課題を解決したい・役に立つことがしたいという想いの方々がたくさんいるという証です。

具体的な活動については、現在、精力的に活動している3団体(印西歴史愛好会、小林住みよいまちづくりの会、寺子屋&子ども食堂“さくら”)からお話を聞くことができました。印西歴史愛好会は、生涯学習の一環として、歴史公開講座の開催や館外学習の実施等を展開しています。小林住みよいまちづくりの会は、小林地区の活性化を目指して、地域交流ふれあい事業や小林鯉のぼり事業等を展開しています。寺子屋&子ども食堂“さくら”は、寺子屋と子ども食堂を開設し、学習支援や居場所づくりを展開しています。団体設立の趣旨や活動方針、活動資金の確保等を詳しく説明していただきました。どの団体も熱い情熱をもって活動していることが伝わりました。

多くの市民アカデミー卒業生が、新たに市民活動団体を設立したり、既存の市民活動団体に参加するなどして大活躍しています。卒業後は、新しい戦力として活躍してくれることを期待しています。



印西市市民活動支援センター



印西歴史愛好会



小林住みよいまちづくりの会



寺子屋&子ども食堂“さくら”



各市民活動団体の活動紹介パネル